

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ		1号炉	3,579
			2号炉	1,706

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	973	800 以上
		2号炉	4月30日	1004	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	187	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	4	100 以下
		2号炉	4月30日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
					- ppm	
ばいじん	1回/2月				- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月				- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	2号炉	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
					- ppm	
ばいじん	1回/2月				- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月				- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			5,259
			5,265

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	969	800 以上
		2号炉	5月31日	985	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	183	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	181	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	4	100 以下
		2号炉	5月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	-	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	-	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月10日	5月31日	<0.03 m <sup>3</sup> N/h	46.9 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月10日	5月31日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月10日	5月31日	1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月					12 ppm	
全水銀	1回/4月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月10日	5月31日	3.9 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					0.18 m <sup>3</sup> N/h	54.9 m <sup>3</sup> N/h
	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	5月10日	5月31日	3 ppm	0.04 g/m <sup>3</sup> N
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	5月10日	5月31日	10 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月					6 ppm	
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	5月10日	5月31日	19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					4.2 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ		1号炉	1,057
			2号炉	5,605

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	959	800 以上
		2号炉	6月30日	984	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	181	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	182	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	5	100 以下
		2号炉	6月30日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月		- ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月		- ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			4,727
			2,886

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	984	800 以上
		2号炉	7月31日	993	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	189	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	5	100 以下
		2号炉	7月31日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#サブリング口)	1号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
						0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#サブリング口)	1号炉	7月19日	8月4日	<0.05 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					2 ppm
全水銀	1回/4月				180 ppm	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#サブリング口)	2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					- ppm
全水銀	1回/4月				200 mg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ		1号炉	3,566
			2号炉	5,735

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	986	800 以上
		2号炉	8月31日	975	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	189	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	5	100 以下
		2号炉	8月31日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	-	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉		-	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	-	-
					-	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	-	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				-	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月10日	-	180 ppm
全水銀	1回/4月				-	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月11日	<0.04 m <sup>3</sup> N/h	57 m <sup>3</sup> N/h
					<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月10日	0.004 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月10日	1 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				18 ppm	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			4,802
			2,399

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	988	800 以上
		2号炉	9月30日	978	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	191	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	188	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	4	100 以下
		2号炉	9月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
						0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月				<0.04 m <sup>3</sup> N/h	55.7 m <sup>3</sup> N/h	
					<1 ppm		
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	9月1日	9月22日	8 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
						4 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				19 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				0.27 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				<0.04 m <sup>3</sup> N/h	57.9 m <sup>3</sup> N/h	
					<1 ppm		
ばいじん	1回/2月				0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	2号炉	9月1日	9月22日	6 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
						3 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				19 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				0.68 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,241
		2号炉	4,414

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	999	800 以上
		2号炉	10月31日	989	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	198	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	193	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	4	100 以下
		2号炉	10月31日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 日	結果の得ら れた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#17°リング°口)	1号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4</sup><sup>※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 日	結果の得ら れた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#17°リング°口)	1号炉			- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#17°リング°口)	2号炉			- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			3,026
			4,478

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	1010	800 以上
		2号炉	11月30日	996	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	191	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	196	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	5	100 以下
		2号炉	11月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月10日	12月5日	0.0059 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	11月10日	12月5日	0.0075 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月10日	12月5日	0.08 m <sup>3</sup> N/h	59.3 m <sup>3</sup> N/h
	1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	3 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	11月2日	12月5日	<0.05 m <sup>3</sup> N/h	58.9 m <sup>3</sup> N/h
	<1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					13 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	8 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					16 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。



# 桜環境センター維持管理記録書(令和5年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			2,312
			5,704

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	974	800 以上
		2号炉	12月31日	984	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	190	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	193	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	2	100 以下
		2号炉	12月31日	7	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#17°リング°口)	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4</sup><sup>※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#17°リング°口)	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#17°リング°口)	2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和6年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			5,666
			2,401

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	975	800 以上
		2号炉	1月31日	983	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	191	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	191	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	2	100 以下
		2号炉	1月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4</sup><sup>※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	1月10日	2月2日	<0.05 m <sup>3</sup> N/h	57.9 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	1月10日	2月2日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月					3 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.63 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	2号炉	1月10日	2月2日	<1 m <sup>3</sup> N/h	57.4 m <sup>3</sup> N/h
						<0.05 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#サブリング <sup>°</sup> 口)	2号炉	1月10日	2月2日	0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月					2 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.82 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和6年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ		1号炉
			2号炉
			5,445
			3,992

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月29日	975	800 以上
		2号炉	2月29日	985	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月29日	192	概ね 200 以下
		2号炉	2月29日	188	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月29日	2	100 以下
		2号炉	2月29日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
						0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4</sup><sup>※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	1号炉	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
					- ppm	
ばいじん	1回/2月				- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月			- ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月			- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング <sup>°</sup> 口)	2号炉	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
					- ppm	
ばいじん	1回/2月				- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月			- ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月			- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。